

全日本ジュニアテニス選手権大会
出場者・関係者各位

全日本ジュニアテニス選手権大会実行委員会
日本テニス協会 医事委員会

ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権 2024 が行われる大会期間は猛暑が予想されます。
選手の安心・安全を第一とし、日本テニス協会が定めた『熱中症予防 JTA 公式テニストーナメント開催ガイドライン[※]』を遵守して大会を運営いたします。
※<https://www.jta-tennis.or.jp/Portals/0/resources/news/necchushog1.pdf>

選手、保護者の皆様には下記についてご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

(1)

WBGT^{※2}を **1 時間毎に測定**します。

※2：暑さ指数 (WBGT (湿球黒球温度) : Wet Bulb Globe Temperature) は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度 (°C) で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数 (WBGT) は人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の 3 つを取り入れた指標です。(出典：環境省「熱中症予防情報サイト」)

【WBGT 値が 30.1°C 以上の場合】

試合フォーマットが 3 タイブレイクセットで行われる種目に限り、**最終セットの前に 10 分間休憩**を導入、

【WBGT 値が 32.2°C 以上の場合】

プレーの一時的中断

(2)

上記 (1) が適用された場合、**試合開始時間が大幅に遅れる** こと等が想定されますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(3)

熱中症の発生要因は『環境要因』
と『プレーヤー要因 (右図参照)』
の 2 つの要因があります。

朝食の不摂取、睡眠不足、水分
摂取不足は、熱中症のリスクが
高まります。

選手の皆様には、**十分な睡眠・
食事・体調管理**を行い、大会に
臨んで頂きますようよろしく
お願いいたします。

選手の健康状態を確認するため、「熱中症予防アンケート」へのご回答をよろしくお願い
いたします。

A. トーナメント開催前の 計画と準備	B. トーナメント開催時の 発生予防と発生時対応
1. 熱中症の既往の有無 (HeaLo事前入力) 2. 睡眠、食事、体調管理 3. 冷却用アイス、ドリンク準備 4. 服装、帽子、日焼け止め 日傘など日除け 5. 緊急連絡先、連絡方法	1. 当日の体調チェック (HeaLo当日入力、体温計測) 2. 冷却用アイス、ドリンク準備 3. 服装、帽子、日焼け止め 日傘など日除け 4. 緊急連絡先、連絡方法

(出典：日本テニス協会 HP 「熱中症予防公式トーナメント
開催ガイドライン」一部編集)

以上